

川や用水路などで最もよく見かける巻き貝の仲間。都市などの汚染された川を除けば、清流から比較的有機物の多い川まで幅広く生息しています。

普段は水底で落ち葉や付着藻類などを食べて生活しており、繁殖期の春や秋には卵ではなく小さな仔貝を数百匹産み落とします。

町内の水辺環境では、ゲンジボタルなどの水生ホタルの幼虫のほか、コイやスッポン、モクズガニ、サワガニなど多くの生き物がエサとして利用しています。水槽についたコケも食べてくれるため、魚などの水生生物を飼育する際には、タンクメイトとしても重宝される掃除屋さんでもあるのです。



## 文芸部の ひろば

### 生涯学習講座 「短歌」受講生の作品



短歌教室の受講生による作品集が4月に刊行されました。

春の陽に水飲む猫の舌の美し水面に小  
さき波紋広げて

福重いく子さん（割付）

猫の水飲む光景がそのままに描写されている。読者も「そうだね、そうだね」とつい思ってしまう。春の陽を浴びながら舌先が一定のリズムで動き、それが小さな波紋をつくっている。「美し」は「愛し」と同じ意味をもつ。猫派の人たちにはたまらない動作なのでしょう。猫の習性がさわやかにとらえられたのだから春の風景。

啓蟄や我の日捲り初夏となる賞味期限  
の日付け打ちゆく

長池いね子さん（四枝）

俳句ではしばしば使用される切れ字の「や」はその前の語句を強調する。今年の啓蟄は三月六日。作品からはどんな加工品かは不明であるが、出荷する日から計算すると賞味期限は初夏。その日付けをパッケージに打ち込む。日捲り（カレンダー）、賞味期限、日付け、打ち込む、など具体的な作業が描写され出荷のよろこびと期限までに完売できればいいという希いが滲み出ている。

【解説】生涯学習講座「短歌教室」講師 福原 美江

皆さんのあたたかい  
善意に感謝します

綾町社会福祉協議会

（3月1日～31日受付分）

一般寄付

寄付者／物品（地区名）

板垣靖一郎／果物（昭和）  
外山 國夫／野菜（立町）  
福山美代子／野菜（奎道）  
長池 恒夫／野菜（神下）  
吐師 保／野菜（宮原）  
竹村 功／野菜（尾立）

忌明寄付

寄付者／物故者（地区名）

濱 真弓／健一（立町）  
押川 満里／田所スミ子（尾立）  
柚木崎宗利／信子（古屋）  
高橋 清子／藤男（神下）  
宮本 親治／治男（二反野）

綾町育英会

（3月1日～31日受付分）

一般寄付

寄付者／物故者（地区名）

濱 真弓／健一（立町）  
押川 満里／田所スミ子（尾立）

